

冬ノ三裏

かうふり・湏弥へしゆみへの倉へくらへにたからをつみて給  
ても一旦へたんへのゆめなり・浮世へうきよへ我身にしたが

ふべからず今この要文教化へようもんけうけへの御詞浄へことばじやうへ  
土へどのみちのしるべとたのみ侍りてかな

らず一佛浄土へぶつじやうどへにまいりあはんとちぎ  
りてなくくわかれにけり

さて冷泉殿はまぢかねて人をむかひ

にやりければはやさまかへて出給ひぬる

よし聞てこの人のむつのとしより